インフルエンザ治療および予防薬

商品名	お薬の形	治療に使う場合	予防に使う場合	予防に用いる場合の注意点
タミフルカプセル	カプセル	1カプセル（75mg）を1日2回	1）成人：1回75mgを1日1回、7～10日間経口投与する。 2）体重37.5kg以上の小児：1回75mgを1日1回、10日間経口投与する。	予防に用いる場合には、次の点に注意して使用する。 1）予防に用いる場合には、インフルエンザウイルス感染症患者に接触後2日以内に投与を開始する（接触後48時間経過後に投与を開始した場合における有効性を裏付けるデータは得られていない）。 2）インフルエンザウイルス感染症に対する予防効果は、本剤を連続して服用している期間のみ持続する。
タミフルドライシロップ	ドライシロップ	1）成人：1回75mgを1日2回、5日間、用時懸濁して経口投与する。 2）小児：次の1回用量を1日2回、5日間、用時懸濁して経口投与する。但し、1回最高用量は75mg。 幼小児の場合：2mg/kg。 新生児、乳児の場合：3mg/kg。	成人：1回75mgを1日1回、7～10日間、用時懸濁して経口投与する。 小児：1回 2mg/kgを1日1回、10日間、用時懸濁して経口投与する。但し、1回最高用量は75mg。	
リレンザ	吸入薬	成人及び小児には、1回10mg（5mgブリスターを2ブリスター）を、1日2回、5日間、専用の吸入器を用いて吸入する。	予防に用いる場合：成人及び小児には、1回10mg（5mgブリスターを2ブリスター）を、1日1回、10日間、専用の吸入器を用いて吸入する。	1）本剤を予防に用いる場合には、インフルエンザウイルス感染症患者に接触後1.5日以内に投与を開始する（接触後36時間経過後に投与を開始した患者における有効性を裏付けるデータは得られていない）。 2）インフルエンザウイルス感染症に対する予防効果は、本剤を連続して使用している期間のみ持続する。 本剤を予防に用いる場合には、原則として、インフルエンザウイルス感染症を発症している患者の同居家族又は共同生活者である高齢者（65歳以上）、慢性心疾患患者、代謝性疾患患者（糖尿病等）、腎機能障害患者を対象とする。
イナビル	吸入薬	1）成人：40mgを単回吸入投与する。 2）小児： 10歳未満の場合、20mgを単回吸入投与する。 10歳以上の場合、40mgを単回吸入投与する。	1）成人：40mgを単回吸入投与する。 または、20mgを1日1回、2日間吸入投与する。 2）小児： 10歳未満の場合、20mgを単回吸入投与する。 10歳以上の場合、40mgを単回吸入投与する。または、20mgを1日1回、2日間吸入投与する。	1）インフルエンザウイルス感染症患者に接触後2日以内に投与を開始する。 2）本剤の服用開始から10日以降のインフルエンザウイルス感染症に対する予防効果は確認されていない。 予防に用いる場合は、原則として、インフルエンザウイルス感染症を発症している患者の同居家族又は共同生活者である高齢者（65歳以上）、慢性呼吸器疾患又は慢性心疾患患者、代謝性疾患患者（糖尿病等）、腎機能障害患者を対象とする。
ゾフルーザ	10mg/20mg錠	1. 成人及び12歳以上の小児には、40mgを単回経口投与する。但し、体重80kg以上の患者には80mgを単回経口投与する。 2. 12歳未満の小児には、次の用量を単回経口投与する。 1）体重40kg以上：40mg。 2）体重20kg以上40kg未満：20mg。 3）体重10kg以上20kg未満：10mg。	予防投与の適応はありません。	